

事業者行動計画書（変更計画書）

平成30年 10月 9日



(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）
東京都港区芝浦3丁目4番1号 グランパークタワー

氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）
日本エア・リキード株式会社
代表取締役 矢原 史郎

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例【第20条第3項・第20条第4項
第22条第1項～第22条第2項において準用する同条例第20条第4
項】の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

| | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 事業者の氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名） | 日本エア・リキード株式会社 代表取締役 矢原 史郎 |
| 事業者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） | 東京都港区芝浦3丁目4番1号 グランパークタワー |

1 事業所の概要

| | | | | | | |
|------------|---|---|---|---|---|--------------|
| 事業所の名称 | 日本エア・リキード株式会社 野洲ガスセンター | | | | | |
| 事業所の所在地 | 滋賀県野洲市市三宅800番地 85号ビル | | | | | |
| 主たる事業 | 細分類番号 | 1 | 6 | 2 | 3 | 圧縮ガス・液化ガス製造業 |
| 該当する事業者の要件 | <input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 任意提出事業者 | | | | | |

2 計画の内容

| | |
|-------|--------|
| 計画の内容 | 別添のとおり |
|-------|--------|

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第 1 号

(第 1 面)

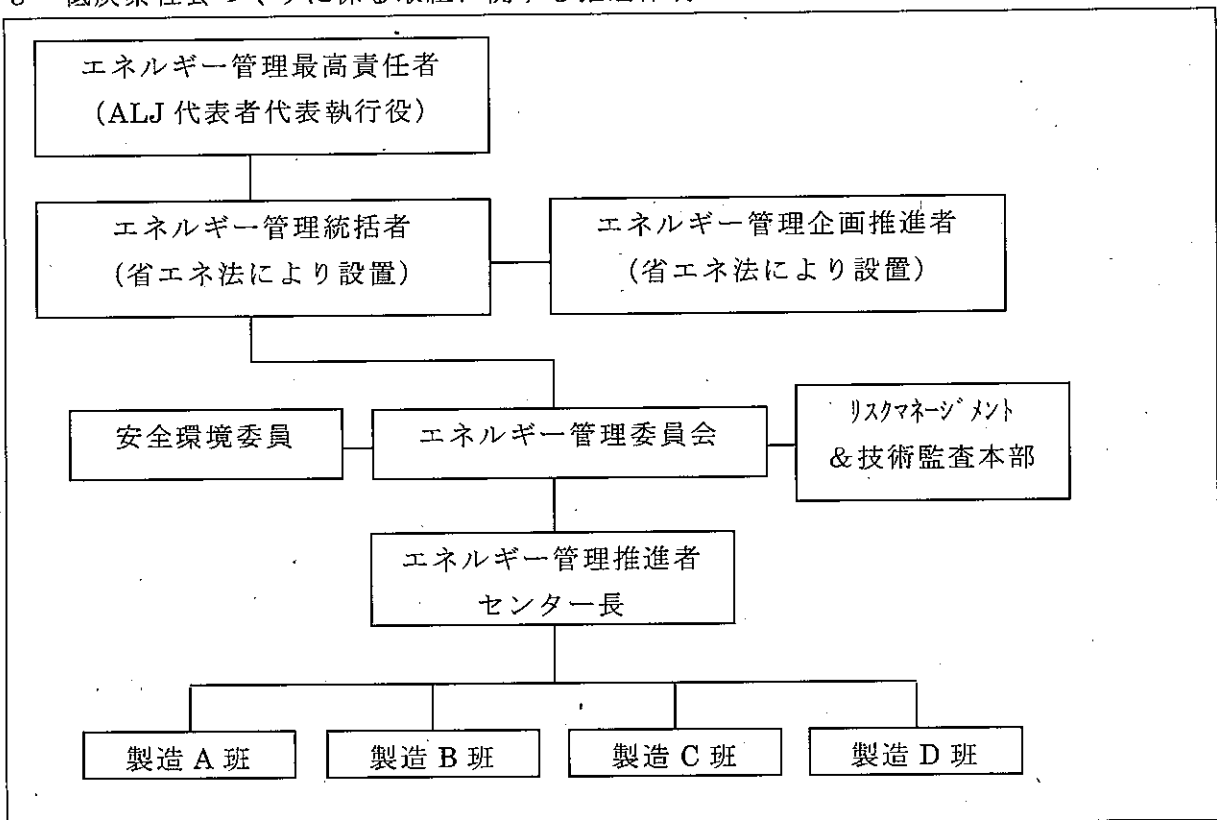
1 計画期間

| | |
|------|------------------|
| 計画期間 | 平成 30 年度 ~ 34 年度 |
|------|------------------|

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

- 平成 22 年度、エネルギー管理統括者・エネルギー管理企画推進者が選任され、エネルギー管理統括者を委員長・エネルギー管理企画推進者を副委員長としたエネルギー管理委員会を立ち上げました。本委員会において、エネルギー管理規定の整備・エネルギー管理標準未整備事業所への整備推進を行うことにより、省エネルギーの推進と達成状況のチェックを行い、全社的に CO2 排出量の削減を推進していくものです。
- 全社の効率改善活動の実施により、効率向上と節約を実施。
- 主要工場のエネルギー効率評価を行い、効率の悪い機器の特定と改善計画の作成および実施。
- 会議において、省エネ活動（原単位 UP 等）の周知を実施。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

| | 取組項目 | 取組の内容 | 実施スケジュール |
|---|------|----------------------------|---------------|
| 1 | 運用対策 | 製品ガスの使用量に応じた原料空気圧縮機の最適運転管理 | 平成30年度～平成34年度 |
| 2 | 運用対策 | 原料空気圧縮機の定期点検清掃 | 平成30年度～平成34年度 |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

| | 温室効果ガスの種類 | 取組の内容 | 実施スケジュール |
|---|-----------|-------|----------|
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

上記の取り組みにより以下の数値目標の達成を目指します。

$$\text{原単位} = \frac{\text{エネルギー使用量 (原油換算 kL)}}{\text{窒素ガス生産数量 (k Nm3)}} \quad \text{で、毎年1\%以上削減}$$